

第112期 株主通信

2023年4月1日 ▶ 2024年3月31日

証券コード：4536





基本理念

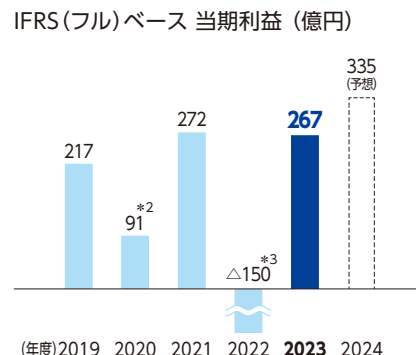
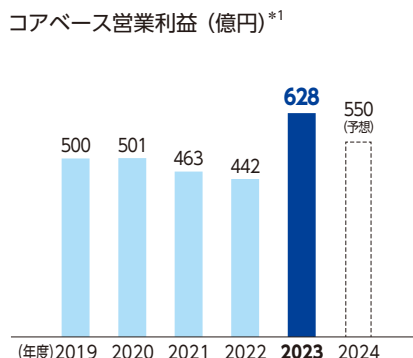
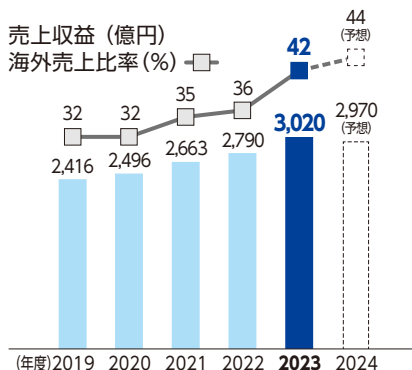
天機に参与する

自然の神秘を解明して人々の健康の増進に貢献するということを意味しています。*

* 中国の古典「中庸」の一節をSantenが独自に解釈したもので、社名「参天」の由来でもあります。

代表取締役社長兼CEO 河野 毅

▶ 連結財務ハイライト



*1 IFRS (フル) ベースから一部の収益・費用 (製品に係る無形資産償却費、その他の収益、その他の費用、金融収益、金融費用、持分法による投資損益、企業買収に係る費用、並びに再成長のための生産性向上及び合理化等に係る費用) を控除し、それらに係る法人所得税費用を調整し、コアベースを算出しています。

*2 STN2000100 (DE-128) に係る減損損失を計上しています。

*3 Eyevence Pharmaceuticals Holdings Inc. (米国) 及びEyevence Pharmaceuticals LLC (米国) 関連資産の減損損失を計上しています。

過去最高の売上収益およびコア営業利益を達成 2025年度 全社数値目標も前倒しで実現

2023年度の業績および2024年度の見通し

株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

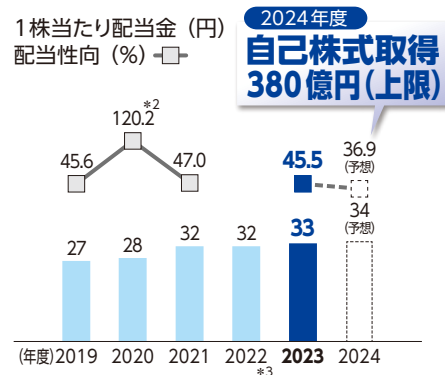
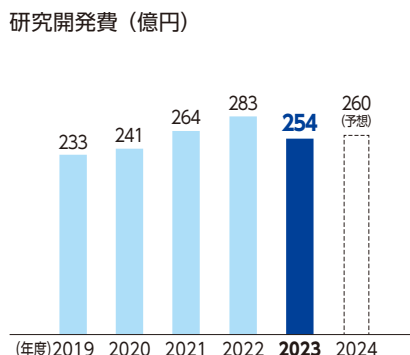
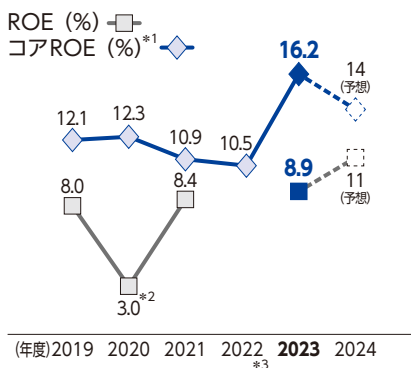
また、元日に石川県能登地方で発生した地震で被災された全ての皆さまに心よりお見舞い申し上げますと共に、一日も早い復旧と復興を心よりお祈り申し上げます。

2023年度におきましては、2023～2025年度中期経営計画で成長に向けた基本方針の一つとして掲げた構造改革を前倒しで完了し、2025年度に想定していた150億円規模の収益改善を実現しました。中長期成長を支えるパイプラインについても、STN1012700（近視）の日本での製造販売承認の申請や、STN1013800（眼瞼下垂）が日本での第Ⅲ相試験において主要評価項目を達成するなど、順調に進展しています。2025年度に達成を目指していた収益性に関する全社数値目標

についても前倒しで実現しており、今後新たな中期経営計画の策定を予定しています。

2023年度の売上収益は海外事業が好調に推移したことから、対前期8.2%増収の3,019億6千5百万円となりました。事業活動自体の収益性を示すコアベースでの営業利益は構造改革の成果もあり、対前期41.9%増益の627億7千8百万円となり大きく改善しました。また、IFRS（フル）ベースでの営業利益は385億4千1百万円（前期は30億9千万円の営業損失）、当期利益は267億3百万円（前期は149億8千3百万円の当期損失）となりました。

2024年度は、引き続き海外事業が成長するものの日本の薬価引き下げや長期収載品に対する選定療養の影響などを織り込み、売上収益は対前期1.6%減収の2,970億円を予想していますが、コスト最適化の継続や構造改革の完了による費用の



減少等を見込み営業利益は対前期15.5%増益の445億円、当期利益は対前期25.5%増益の335億円を予想しています。

資本配分・株主還元について

中期経営計画に基づき、収益性強化を通じた、キャッシュの創出力を高めてまいります。その上で、創出したキャッシュを将来の成長のために、研究開発や事業開発に投資をしております。

株主還元については中長期的な利益成長に合わせて増配していく累進配当を掲げており、2023年度は年間配当を1株当たり1円増配し33円としました。2024年度については、中間配当17円、期末配当17円の計34円（1円増配）を予想しています。

また、有望な事業開発投資機会が無い場合は株価の状況を鑑みながら機動的な自己株式取得による利益還元を実施することを基本的な方針としています。2024年5月10日から2024年11月6日を取得期間とし、21,110,000株（自己株式を除く発行済株式総数に対する割合5.8%）もしくは380億円を上限とする自己株式取得を実施しています。本件により取得した自己株式は消却を予定しています。

これからも、基本理念に基づき、世界中の患者さんや眼科医から必要とされる製品・サービスの提供を通じ、眼科に特化した企業として世界中の眼科医療に貢献し、持続的な成長を目指してまいります。株主の皆さまには、引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。

2025年度 全社数値目標

2023-2025年度中期経営計画では、海外一人当たり売上高の成長を含めて収益性の確実な改善と資本効率の向上を掲げており、2023年度において前倒しで実現しました。

KPI (重要業績評価指標)	2023年度実績	2025年度目標
売上高	3,020億円	2,800億円
コア営業利益額	628億円	560億円
コア営業利益率	21%	20%
海外一人当たり売上高成長率(中国、アジア、EMEA)	33% ^{*1}	7%以上の成長 ^{*2}
コアROE(親会社所有者帰属持分当期利益率)	16%	13%
コアEPS(1株当たり当期利益)の成長率	54% ^{*1}	10%以上 ^{*2}

*1 対前期増減率

*2 2022~2025年度の年平均成長率

▶ 研究開発状況(臨床段階)

■ 緑内障領域 ■ 角結膜疾患領域 ■ 屈折異常領域 ■ その他の領域

2024年4月時点

開発コード	一般名・化合物名	効能・効果	地域	臨床試験*1			申請	承認	発売
				フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3			
STN1011101 / DE-111A	タフルプロスト/チモールマレイン酸塩	緑内障・高眼圧症	中国				2022年12月		
			米国						
STN1012600 / DE-126	セパタブロスト	緑内障・高眼圧症	日本						
			欧州						
STN1013001 / DE-130A (Catioprost)	ラタノプロスト	緑内障・高眼圧症	欧州				2023年11月		
			アジア						
STN1013900 / AR-13324	ネタルスジルメシル酸塩	緑内障・高眼圧症	日本						
			欧州					2023年2月	
			アジア					2023年1月	
STN1014000 / PG-324	ネタルスジルメシル酸塩/ラタノプロスト	緑内障・高眼圧症	欧州					2023年1月	
			アジア					2023年1月	
STN1007603 / DE-076C	シクロスポリン	春季カタル	中国					2022年4月	
STN1008903 / DE-089C	ジクアホソルナトリウム	ドライアイ	日本						2022年11月
			アジア						2024年3月
STN1014100	オロダテロール塩酸塩	ドライアイ	日本		フェーズ1/2a				
STN1010904*2	シロリムス	フックス角膜内皮ジストロフィ	米国 フランス インド		フェーズ2a				
STN1010905	シロリムス	マイボーム腺機能不全	日本		フェーズ2a				
STN1011402	エピナスチン塩酸塩	アレルギー性結膜炎	日本					2024年3月	
STN1011403	エピナスチン塩酸塩	アレルギー性結膜炎	中国						
STN1012700 / DE-127	アトロピン硫酸塩	近視	日本					2024年2月	
			中国					フェーズ2/3	
			アジア						
STN1012701 / SYD-101	アトロピン硫酸塩	近視	欧州						
STN1013400	AFDX0250BS	近視	日本		フェーズ2a				
			中国						
STN1013800	オキシメタゾリン塩酸塩	眼瞼下垂	日本						

*1 臨床試験：フェーズ1～3の3段階で実施されます。フェーズ1では、少数の健康な志願者を対象に安全性を確認します。フェーズ2では、少数の患者さんを対象に適切な投与量や投与方法を検討・確認します。フェーズ3では、多数の患者さんを対象に安全性・有効性を検証します。

*2 開発コードは、フェーズ2試験終了時に当社が独占的実施権を獲得した後に附番予定のコードです。

STN1011700およびSTN1007603は、2023年7月にそれぞれ、Visiox Pharmaceuticals, Inc. (米国) およびHarrow Health, Inc (米国) と、北米における製品ライセンスの導出契約を締結しました。STN1013600 (一般名：ウルソデオキシコール酸) は、フェーズ2a試験のデータ解析の結果、開発を中止しました。

海外事業のさらなる成長

コマーシャル・エクセレンスの地域展開

Santenの海外事業は2014年の米国メルク社製品承継を契機に大きく拡大し、現在では2014年の2倍近くに成長しています。現中期経営計画では、地域事業のさらなる成長に向けて、日本で蓄積したノウハウを最大限活用しつつ、地域ごとに“最適化されたコマーシャル・エクセレンス”の確立を進めています。海外事業の現状と、その目指す未来をご紹介します。

60以上の国・地域で事業を展開し、世界における貢献患者数は5,000万人

EMEA

2023年度売上収益

648億円

(対前年+23.3%)

成長機会の大きいEU5と歴史的に高いシェアを誇る北欧を中心に緑内障・ドライアイでプレゼンスを拡大

アジア

2023年度売上収益

287億円

(対前年+18.9%)

主要市場である韓国・タイ・ベトナムを中心に、セルフメディケーション市場も取り込みつつ、緑内障・ドライアイでの事業拡大を加速

中国

2023年度売上収益

299億円

(対前年+38.6%)

長年培ったプレゼンスを活かし、マルチチャネル戦略により、リスクと事業機会を管理し持続的な成長を目指す

EMEA

シェア No.4

中国

シェア No.1

日本

シェア No.1

アジア

シェア No.1

EMEA:ヨーロッパ、中東およびアフリカ。EU5:イタリア、ドイツ、イギリス、スペイン、フランス。貢献患者数は、JMDCでの当社医療用医薬品における製品ごとの延べ推計患者数および当社出荷データをもとに、炎症・アレルギー、角膜、緑内障、白内障の疾患領域で推算した2021年度延べ貢献患者数。シェアは全地域CY2023。海外は網膜領域除く。アジアはインド・パキスタン・スリランカ・バングラデシュ除く。出典:Copyright © 2024 IQVIA. IQVIA MIDAS 2023.1Q-2023.4QおよびJPM 2023.1-2023.12を基に参天分析 無断転載禁止

事業ボラティリティを吸収し、成長軌道を維持できる海外事業基盤を構築済み

市場環境

眼科疾患における大規模な潜在患者が、
アイケアに関する生活者の未充足ニーズが
あらゆる国・年齢層に存在

市場拡大余地

ボラティリティ要因

- 医療政策変更
 - ジェネリック浸透
 - 収載薬価と引き下げ
- カントリーリスク

海外事業が立脚する強み

- 眼科医など医療関係者との強固なリレーション
- 構築されたSantenおよび製品のブランド力
- 各地域のニーズに応える製品ポートフォリオ (含:セルフメディケーション、デバイス) および新製品の開発 / 上市



- 継続的なコマース・エクセレンスの追求

Santenのコマース・エクセレンスとして日本での強みのうち
グローバルの強みに昇華させたい要素を体系化し、地域特性を加味しながら海外事業へ展開

- 新製品 / 新規導入品上市の成功：ピーク売上と到達スピードの最大化
- 既存製品の最大化：製品力のみならず競合との差別化、医療政策や医師の処方意向を動かす

中期経営計画 (2023-2025年度)

2025年度まで

考え方 収益性を改善させ、かつ2026年度以降に予定している
大型製品の基盤となる組織力を構築

基本方針

構造改革による収益性改善

3つの柱を通じた地域事業売上最大化と
2026年度以降も見据えた投資

地域戦略+コマース・エクセレンス

事業開発

(他社上市品、リージョン品を含む)

新規事業

(医療用医薬品売上最大化へ資するもの)

2026年度以降

変革した組織力を根幹に、
大型の新規パイプラインによる価値貢献を最大化

大型パイプライン上市による
新領域での売上創出

- 特に、近視・眼瞼下垂などの自由診療で
新しい価値貢献機会を創出
- R&D及び事業開発への十分な投資による
開発・新規パイプラインの探索

▶ 株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 6月
基準日 定時株主総会 3月31日
期末配当金 3月31日
中間配当金 9月30日

単元株式数 100株

公告方法

電子公告

ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

公告掲載URL : <https://www.santen.com/ja/pn>

証券コード 4536

上場証券取引所 東京証券取引所

株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関

三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先

〒541-8502

大阪市中央区伏見町三丁目6番3号

三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部

TEL : 0120-094-777 (通話料無料)

▶ 会社概要 (2024年3月31日現在)

社名 参天製薬株式会社
本社 〒530-8552
大阪市北区大深町4番20号
創業 1890年
設立 1925年
資本金 8,777百万円
工場 能登、滋賀、他
研究所 奈良研究開発センター、他
従業員数 3,744名 (連結)

株式に関するお手続きについて

- 株券電子化に伴い、株主さまの住所変更、買取・増請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）にお問い合わせください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行の本支店でもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行の本支店でお支払いいたします。

お問い合わせ先

参天製薬株式会社
IR室

〒530-8552 大阪市北区大深町4番20号

お問い合わせフォーム : <https://www.santen.com/ja/contact/form1>

URL : <https://www.santen.com/ja>

表紙の写真について

Santenは「天機に参与する」という基本理念の下、目の領域に特化した企業として、世界中の一人ひとりが「見る」に関する最善の体験を通じて、それぞれの最も幸福な人生を実現する世界「Happiness with Vision」を創り出したいと考えています。

この写真は、当社の社員が撮影したもので、社内のフォトコンテストにて紹介された一枚です。光を受け一面に広がる青もみじは、机に映り込んだ姿と合わさり、輝きを増しています。

参天製薬株式会社



FSC®認証紙と植物油
インキを使用しています。



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。